

CEATEC JAPAN 2013 アクセシビリティセミナー

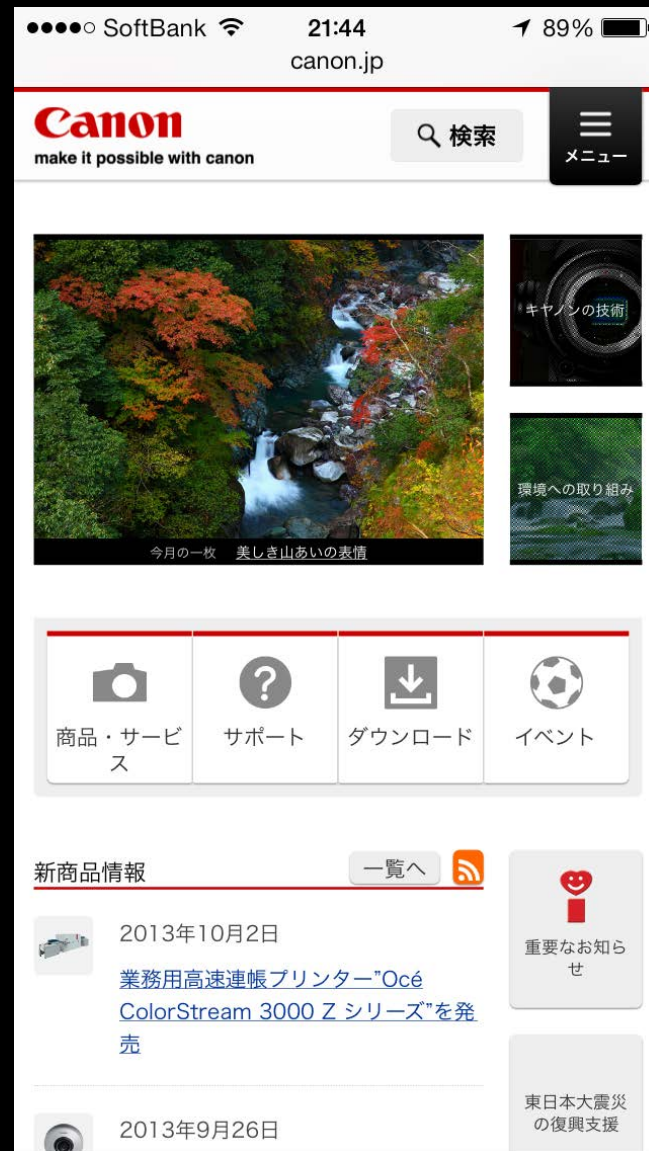
キャノンのウェブサイトにおける アクセシビリティへの取り組み

2013年10月4日

キャノンマーケティングジャパン株式会社

澤田望

1. 自己紹介
2. 取り組む理由
3. 取り組み内容
4. 効果
5. 苦勞している点
6. 今後に向けて
7. まとめ



1. 自己紹介

1. 自己紹介

- キヤノンマーケティングジャパン株式会社
ウェブマーケティングセンター
チーフ/デザイナー
澤田 望（さわだ のぞみ）
- 増井元所長の下、
大小5回のリニューアルで
デザイン/実装を担当
- WAIC WG2委員



2. なぜアクセシビリティに取り組むのか？

2. なぜアクセシビリティに取り組むのか？

古い話になりますが...

- 1999年：顧客対応プロジェクト発足
「どんなお客さまに対しても
質の高いサービスを」
- 2001年：ウェブマネジメントセンター発足
キヤノンサイトの基本理念が
増井元所長によって定義される

2. なぜアクセシビリティに取り組むのか？

キヤノンサイトの基本理念

機会：お客さまがコンテンツにアクセスする機会が多く与えられている

保証：お客さまが求める情報をより多くの環境で素早く確実に提供できている

共感：キヤノンの商品・サービスやキヤノンらしさが訴求できている

2. なぜアクセシビリティに取り組むのか？

キヤノンサイト基本理念とアクセシビリティ

- アクセシビリティ → 保証
機械可読性の向上 → 機会
サイト品質の向上 → ブランドイメージ (共感)
- キヤノンの製品分野は多岐に渡る
→ 様々な立場や環境のお客さまに対して
情報保証をする義務
→ 企業のマーケティング活動の基盤を保証

3. 取り組み内容

3. 取り組み内容

2003年	らくらくWeb散策 導入		
2005年	アクセシビリティガイドライン作成		
2006～8年	Web標準化対応		
2010年	ZoomSight 導入		
2011年	JIS X 8341-3:2010 達成等級A 一部準拠		4ページ
2013年	達成等級A 準拠 一部準拠		669ページ 452ページ

3. 取り組み内容



Canon

検索

試験を行ったウェブページのURI一覧

このページでは「ウェブアクセシビリティについて」において記載している「JIS X 8341-3 : 2010に基づく試験結果表示（ウェブページ単位）」の別紙として、URIのリストを記載しています。

グループ1 (準拠)

- <http://canon.jp/ecology/qa/>
- <http://canon.jp/feedback/index.html>
- <http://canon.jp/index.html>
- <http://canon.jp/notice/notfound.html>
- <http://canon.jp/notice/privacy-policy.html>
- <http://canon.jp/notice/term-of-use.html>
- <http://canon.jp/webindex.html>
- <http://canon.jp/event/index.html>
- <http://canon.jp/event/exhibition/index.html>
- <http://canon.jp/event/photo/index.html>
- <http://canon.jp/event/sports/index.html>
- <http://canon.jp/event/art/index.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/comparison/index.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/info/20100216/index.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/info/20120217/>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/info/20120410/>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/index.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/1/index.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/110f/image-sample.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/110f/face-design.html>



Canon

検索

グループ2 (一部準拠)

- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/common-feature/index.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/eng.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/index.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/1/face-design.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/1/feature-auto.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/1/feature-design.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/1/feature-highquality.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/1/feature-multiscene.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/1/feature-others.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/1/feature-wifi.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/1/product.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/1/spec.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/110f/face-design.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/110f/feature-auto.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/110f/feature-mode.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/110f/feature-movie.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/110f/feature-multiscene.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/110f/feature-others.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/110f/feature-wifi.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/110f/feature-zoom.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/3/face-design.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/3/feature-auto.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/3/feature-design.html>
- <http://cweb.canon.jp/camera/dcam/lineup/ixy/3/feature-highquality.html>

<http://canon.jp/notice/accessibility-list.html>

3. 取り組み内容

どうやって、準拠ページを増やしたか？

3. 取り組み内容

2013年リニューアル方針

Quality First

JIS対応範囲の拡大

保証

Mobile First

企画やデザインプロセスなどにおいて
もモバイルから先に検討

機会

Contents & Context First

お客さまの利用シーンを想定した
コンテンツとナビゲーション

共感

デザイン／実装面での施策

モバイル対応

- デバイスによって情報量を分けず、
どんな環境下でも同じ情報にアクセス
モバイルで見えるものをPCでも見る
- ワンソースによる汎用化
→ 構造的なアクセシビリティ対応力強化

3. 取り組み内容

The image shows a smartphone view of the Canon website. The layout is compact and vertical. At the top, the Canon logo and tagline "make it possible with canon" are on the left. A search bar with the text "検索" and a magnifying glass icon is in the center. A menu icon with three horizontal lines and the text "メニュー" is on the right. Below this is a large hero image of a waterfall in a forest with autumn foliage. To the right of the hero image are two smaller square images: one showing a camera lens with the text "キヤノンの技術" and another showing a green landscape with the text "環境への取り組み". Below the hero image is a caption: "今月の一枚 美しさ山あいの表情". A navigation bar contains four icons: a camera for "商品・サービス", a question mark for "サポート", a download arrow for "ダウンロード", and a soccer ball for "イベント". Below the navigation bar is a "New Product Information" section with a "一覧へ" link and a red heart icon for "重要なお知らせ". The main content area features a product announcement for a printer: "2013年10月2日 業務用高速連帳プリンター「Océ ColorStream 3000 Z シリーズ」を発表".

スマートフォン閲覧時

The image shows a PC view of the Canon website. The layout is wider and more detailed. At the top, the Canon logo and tagline "make it possible with canon" are on the left. A search bar with the text "検索" and a magnifying glass icon is in the center. A menu icon with three horizontal lines and the text "メニュー" is on the right. Below this is a large hero image of a waterfall in a forest with autumn foliage. To the right of the hero image are two smaller square images: one showing a camera lens with the text "キヤノンの技術" and another showing a green landscape with the text "環境への取り組み". Below the hero image is a caption: "今月の一枚 美しさ山あいの表情". A navigation bar contains six icons: a camera for "商品・サービス", a question mark for "サポート", a download arrow for "ダウンロード", and a soccer ball for "イベント". Below the navigation bar is a "New Product Information" section with a "一覧へ" link and a red heart icon for "重要なお知らせ". The main content area features a product announcement for a printer: "2013年10月2日 業務用高速連帳プリンター「Océ ColorStream 3000 Z シリーズ」を発表". Below this is another announcement for a camera: "2013年9月26日 手のひらサイズネットワークカメラ「VB-S30D」など4機種を発表". At the bottom, there is a "Canon from Canon" section with a "一覧へ" link and a red heart icon for "重要なお知らせ". The main content area features a product announcement for a projector: "2013年9月24日 低消費電力・長寿命のLED光源を採用した小型・軽量プロジェクター「LE-5W」を発表".

PC閲覧時

3. 取り組み内容

コンテンツとナビゲーションの分離

- ・グローバルナビゲーションの廃止
- ・ローカルナビゲーションの集約／共通化



3. 取り組み内容

コンテンツとナビゲーションの分離

- お客様の目的達成への最適化

閲覧時：コンテンツ100%

遷移時：メニュー100%

- スキップリンク対応

- メニューボタン化
- 見出しの設置

Canon

概要 高画質 機動力・操作性 AF・AE 信頼性 拡張性

仕様 PC動作環境 商品構成 撮影サンプル 各部名称

一眼レフカメラ/ミラーレスカメラ
EOS-1D X 概要

EOS

プロ機の次代を切り拓く。

35mm Full-size CMOS Sensor
× 12fps

EOS-1D X

有効画素数 約1810万画素	センサーサイズ フルサイズ	連続撮影速度 約12コマ/秒	液晶サイズ ワイド 3.2型	測距点 61	常用ISO 100~51200	映像エンジン DIGIC 5+	質量 約1530g	RoHS対応 欧州RoHS(特定有害物質の使用制限)指令に適合
-------------------	------------------	-------------------	----------------------	-----------	--------------------	--------------------	--------------	------------------------------------

* CIPAガイドラインによる

3. 取り組み内容

- スキップリンク対応

実装方法

G1 + H69 : 不採用 → SCR28 + H69 : 採用



WCAG 2.0 実装方法集

G1: メインコンテンツエリアへ直接移動するリンクを各ページの先頭に追加する

H69: コンテンツの各セクションの開始位置に見出し要素を提供する

SCR28: 展開可能及び折り畳み可能なメニューを用いて、コンテンツのブロックをバイパスする

3. 取り組み内容

CSS3の採用

- ・ ボタンや見出しのテキスト化

色のコントラスト

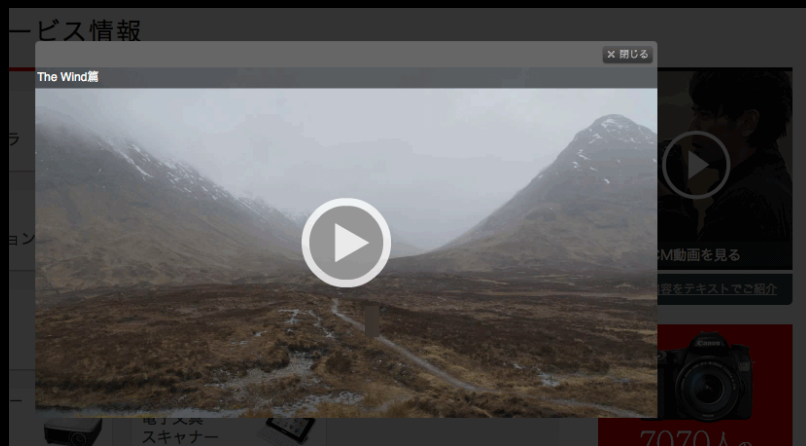
- ・ カテゴリーカラー
AA基準のコントラスト比



3. 取り組み内容

動画

- 動画に対する代替コンテンツ



Canon

検索

メニュー

TVCM EOS 70D 「The Wind篇」 (60秒)

CM紹介

美しい自然の映像とモルダウの曲とともにCMがスタート。



風：
「What're you doing here?」
(ここで何をしています?)

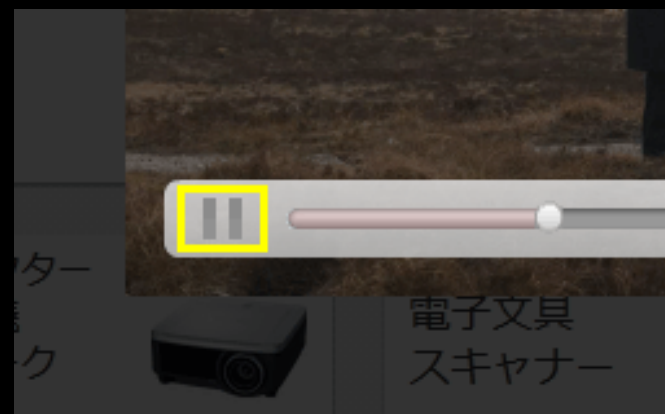
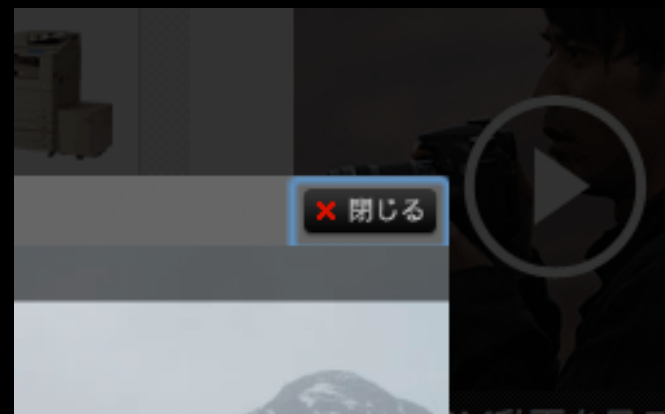


ここで何をしています?

3. 取り組み内容

JavaScript使用箇所でも**キーボード操作可能**

- ・ モーダルダイアログ表示
- ・ 動画コントローラー
- ・ タブ



運用面の見直し → それが一番大事

実現させるためにも

継続させるためにも

3. 取り組み内容

- 制作用原稿のフォーマット統一
→ 見出しレベルやalt属性の内容を明確化
(Microsoft Wordのスタイルを使用)
- ルール適合状態チェックプログラムの開発

4. JIS対応による効果

コスト低減

- 長い目で見ればメンテナンスコストは低下
画像のテキスト化／マークアップの適正化
- ワンソースであればマルチデバイス対応時のコストは抑えられる

4. JIS対応による効果

SEO効果

- ・ 一般的に言われる程度には効果あり

ブランディング効果（共感）

- ・ 商品／サービス／ウェブサイト → 品質

社内の意識変化

- ・ 品質に対する意識の芽生え

5. 苦勞している点

5. 苦労している点

公開後アクセシビリティチェック結果

- エラーメッセージが難解 → 敬遠される
→ 指摘箇所に応じた修正方法の解説

5. 苦勞している点

テンプレート

- コンテンツの中身までは保証できない

Canon

コンテンツ名 コンテンツ名 コンテンツ名

一般呼称
商品名 サブ見出し 400 x 60

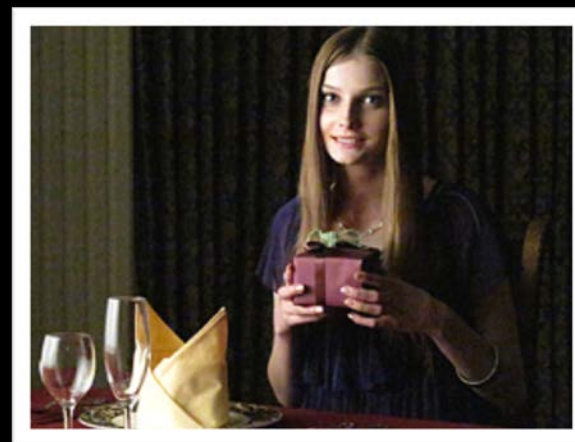
920 x 280

定義項目	定義内容
定義項目1	定義内容1定義内容1定義内容1
定義項目2	定義内容2定義内容2定義内容2
定義項目3	定義内容3定義内容3定義内容3

ボタンラベルボタンラベル

おもな特長

160 x 160



正：ISO感度12800作例

誤：思いがけない贈り物

5. 苦労している点

確認環境

- ・ 増え続けるブラウザでの確認
→ テンプレート開発時にチェック

末端まで行き届かないガバナンス

- ・ ルールに則っていないが見た目だけコピー

ランキングの功罪

- 予算確保のためには指標が必要

- 評価指標に注意

文字サイズ変更ボタン／パンくずナビ／スキップリンク等

- サイト全体の一貫性重要

ユーザビリティ低下につながる

6. 今後に向けて

アクセシビリティ方針の公開

- ・ 増え続けるページの掲載方法／試験方法
- ・ 達成等級向上 (AA) ? or 対応範囲拡大?

テンプレートの細分化

- ・ 制作者による方言を低減 → 品質を担保

6. 今後に向けて

外部（SNS等）との連携

- ・ アクセス解析／効果測定／マーケティング施策のために提供されるタグ類の適正化と管理

グループ企業への拡大

- ・ キヤノンマーケティングジャパングループ
日本国内 → JIS
- ・ キヤノングループ
グローバル → WCAG

7. まとめ

これから企業ウェブで JIS対応に取り組む皆さんへ

デザインをあきらめない（これ重要）

- ・ 疎かにすると「JIS対応するとダサくなる」と言われかねない

楽をすることを考える

- JIS対応のために運用負荷増
→ 他の何かを減らしてバランスを取るべき
- コンテンツの内容に注力すべき
手塩にかけたコンテンツほどアクセスして欲しいはず

アクセシビリティは一日にしてならず

- ・ 取り組みは企業の文化になる
- ・ 文化は時間をかけて熟成させるもの
→ 焦らず少しずつ「当たり前」になるまで

ご清聴ありがとうございました。

canon.jp